

## 第5章. 石岡市における公共交通の課題

## 第5章 石岡市における公共交通の課題

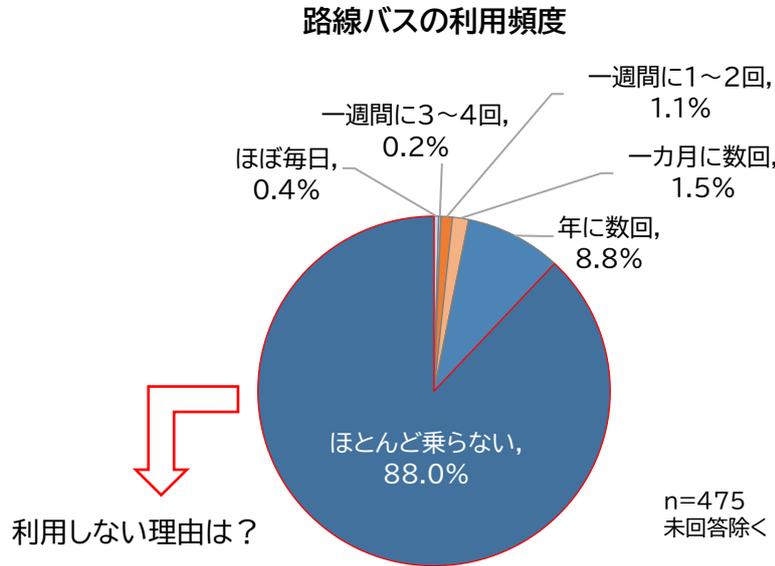
5-1 高齢化に伴う公共交通のニーズの高まり	5-2 都市拠点と地域生活拠点の移動の確保	5-3 多様化する移動ニーズへの対応	5-4 周辺都市から石岡市への移動利便性の維持	5-5 観光客が周遊しやすい移動環境の提供
---------------------------	--------------------------	-----------------------	----------------------------	--------------------------

### 5-1 高齢化に伴う公共交通のニーズの高まり

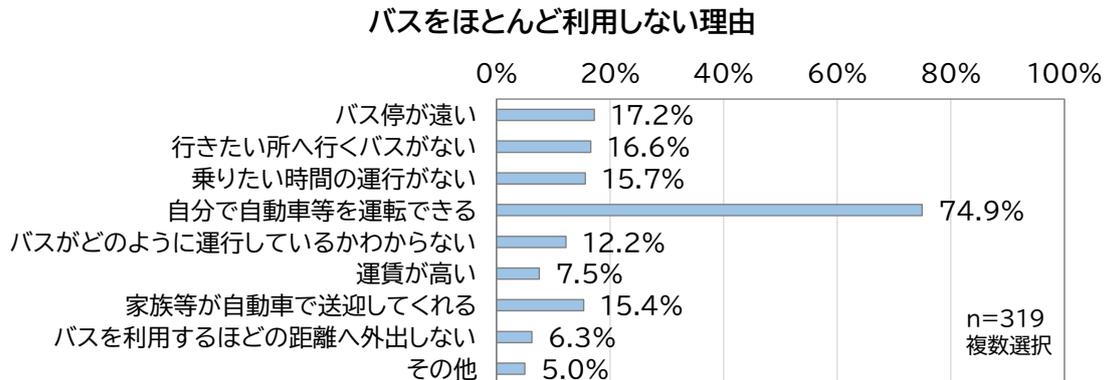
第2章であげたとおり、高齢者割合の増加は今後も続く見込みで、国立社会保障・人口問題研究所が行う将来人口推計によると本市における2045年の高齢者の割合は45.4%に達する見込みです。

本市に住む多くの人が運転免許を保有しており、約5万人が運転免許を保有しています。そのうち約1.5万人が65歳以上の高齢者です。

市民アンケートで、バスの利用頻度をみると、「ほとんど乗らない人」が回答者の約9割を占めており、現状バスを利用しない理由を聞いたところ、「自分で自動車等を運転できる」と回答した人が最も多く見られました。



出典：令和5年度市民アンケート



出典：令和5年度市民アンケート

## 第5章 石岡市における公共交通の課題

5-1 高齢化に伴う公共交通のニーズの高まり	5-2 都市拠点と地域生活拠点の移動の確保	5-3 多様化する移動ニーズへの対応	5-4 周辺都市から石岡市への移動利便性の維持	5-5 観光客が周遊しやすい移動環境の提供
---------------------------	--------------------------	-----------------------	----------------------------	--------------------------

しかし、近年では、高齢者ドライバーによる交通事故の増加を受けて、自主的に運転免許を返納する高齢者が増えてきました。本市においても運転免許を返納する高齢者の数が増加傾向にあり、令和3年時点で222件の運転免許の返納者が見られ、運転免許を返納する高齢者の数は今後も増加していくことが予想されます。

表 石岡市における運転免許返納者

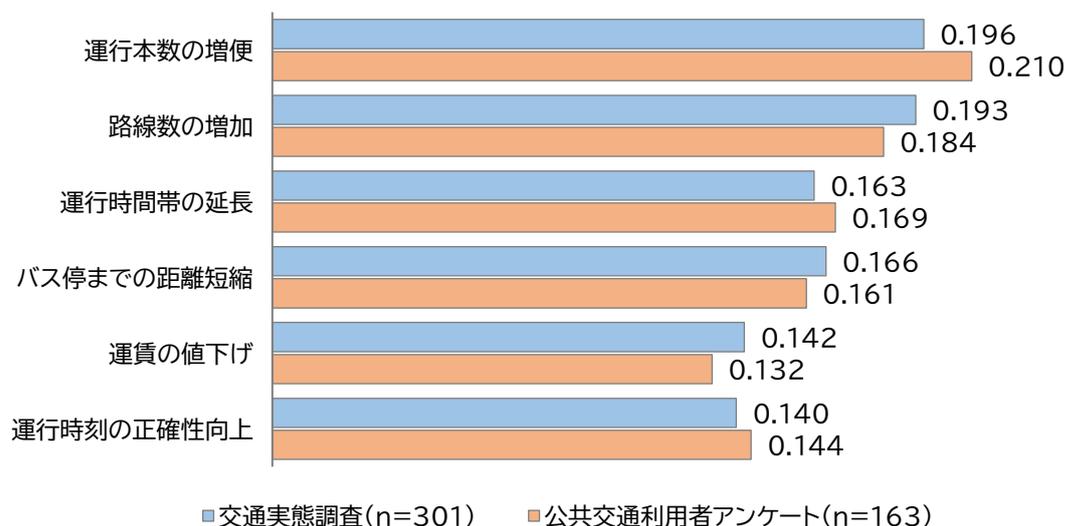
(年)

単位:人	H29	H30	R1	R2	R3
総数	159	191	250	256	230
うち65歳以上	151	183	240	245	222

出典:統計いしおか

運転免許を返納した高齢者の移動を確保するために、上記のニーズを踏まえ、今後さらに公共交通が重要になることが考えられます。

なお、アンケート調査で、市民路線バスのサービス改善にあたって大事な要素(重要度)を聞いたところ、「運行本数」が重要であると回答した人が最も多く、次いで「路線数の増加」「運行時間帯の延長」でした。これらの市民のニーズを踏まえた上で、今後の公共交通を考えていく必要があります。



出典:令和5年度市民アンケート・公共交通利用者アンケート

図 路線バスのサービス改善にあたって大事な要素(重要度)  
(重要度は数値が高いほど重要と考える人が多い)

## 第5章 石岡市における公共交通の課題

5-1 高齢化に伴う公共交通のニーズの高まり	5-2 都市拠点と地域生活拠点の移動の確保	5-3 多様化する移動ニーズへの対応	5-4 周辺都市から石岡市への移動利便性の維持	5-5 観光客が周遊しやすい移動環境の提供
---------------------------	--------------------------	-----------------------	----------------------------	--------------------------

### 5-2 都市拠点と地域生活拠点の移動の確保

本市は、市域の約80%が農地・山林等の自然的土地利用で、残りが市街地等の都市的土地利用です。市街地は石岡駅を中心に広がっています。

一方で、柿岡地区や小幡地区、園部地区等にも一定の人口集積がみられることから、これらの地域と鉄道駅を結ぶ公共交通のネットワークが重要になります。

各地域を結ぶ役割は路線バスが担っていますが、新型コロナウイルス感染症の蔓延をきっかけとして路線バスの利用者が大幅に減少しており、バス事業者の経営を圧迫したことから、今後いくつかの路線の廃止が予定されています。

居住エリアが広範囲に分散している本市において、都市拠点と地域生活拠点を結ぶ移動手段の確保は大きな課題であると言えます。

【今後廃止が予定されている路線】

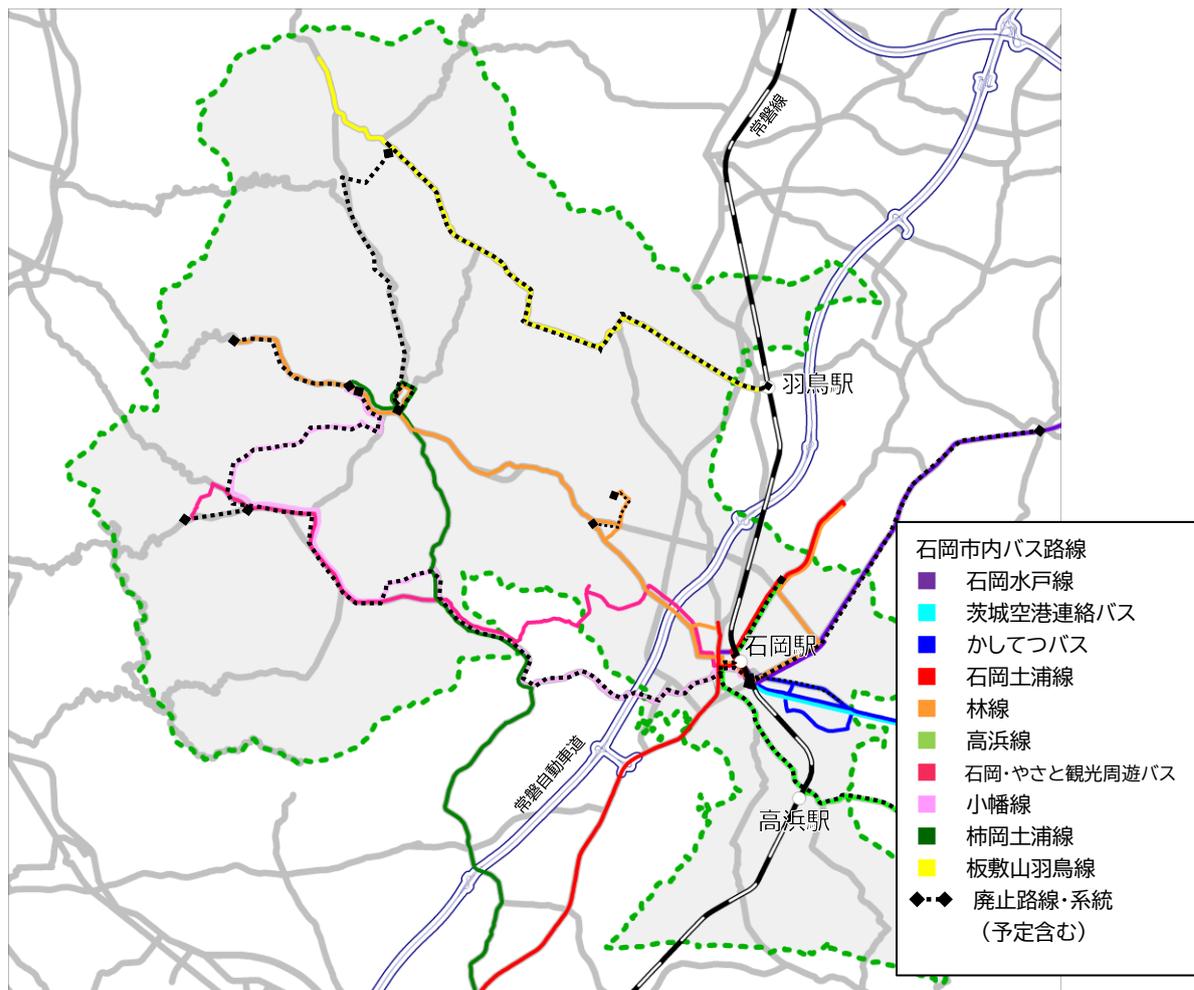


図 廃止予定の石岡市内を運行するバス路線・系統の位置図

## 第5章 石岡市における公共交通の課題

5-1 高齢に伴う 公共交通の ニーズの高まり	5-2 都市拠点と 地域生活拠点 の移動の確保	5-3 多様化する移動 ニーズへの対応	5-4 周辺都市から 石岡市への 移動利便性の 維持	5-5 観光客が 周遊しやすい 移動環境の 提供
----------------------------------	----------------------------------	---------------------------	--	--------------------------------------

### 5-3 多様化する移動ニーズへの対応

「性別」「国籍」「年齢」「障がいの有無」など、異なる要素や特性を持つ多様な人々が共存する社会のあり方(ダイバーシティ)が求められています。交通サービスでは、先に述べた高齢者に加え、障がい者、外国人などに対して、バリアフリーや多言語対応等において柔軟できめ細やかな対応が求められます。

また、ICTの進展、働き方改革、新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機として既存の働く場所に捕われぬ働き方(在宅やコワーキングスペースでの労働)が増加し、これまでとは違う通勤スタイルも見られるようになってきました。

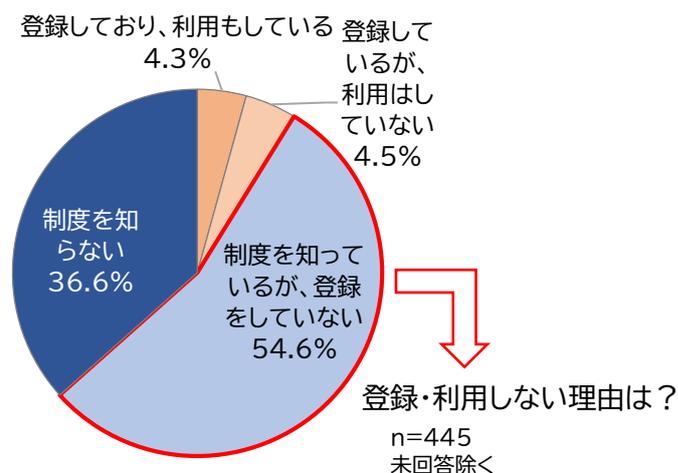
今後は、移動する人々の「行きたい場所」や「移動したい時間」、「目的」が多様になってくることが考えられます。

路線バスで補えない移動ニーズに応えるため、社会福祉協議会により市全域で乗合いタクシーの運行が行われています。令和5年3月からはAIシステム導入が行われるなどサービスの充実・向上が図られています。

乗合いタクシーの利用者数の推移をみると、平成25年度時点では、1日当たり181人の利用が見られましたが、近年では利用者数が減少傾向にあります。

市民を対象にしたアンケート調査では、乗合いタクシーの「登録制度を知らない人」と「制度を知っているが登録をしていない人」が約9割を占めており、乗合いタクシーを利用しない理由として、「自分で自動車等を運転できる」が最も多い結果でした。

乗合いタクシーの利用登録状況

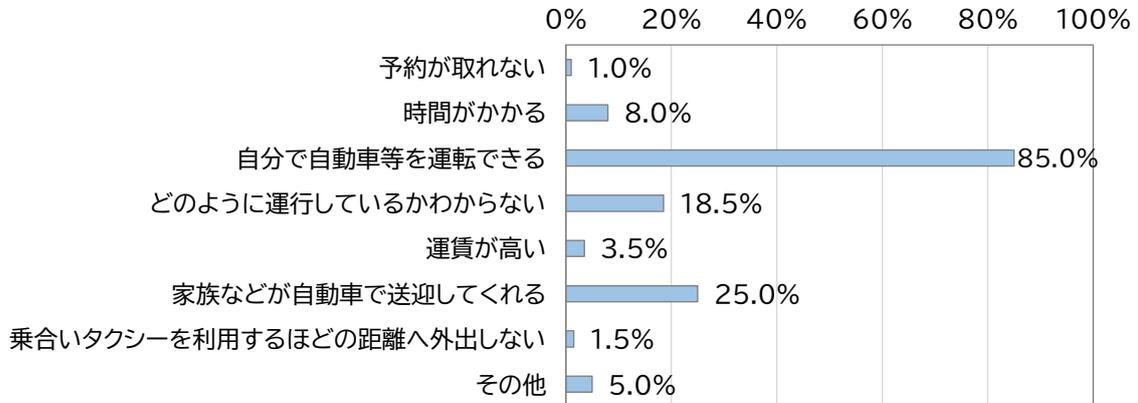


出典：令和5年度市民アンケート

## 第5章 石岡市における公共交通の課題

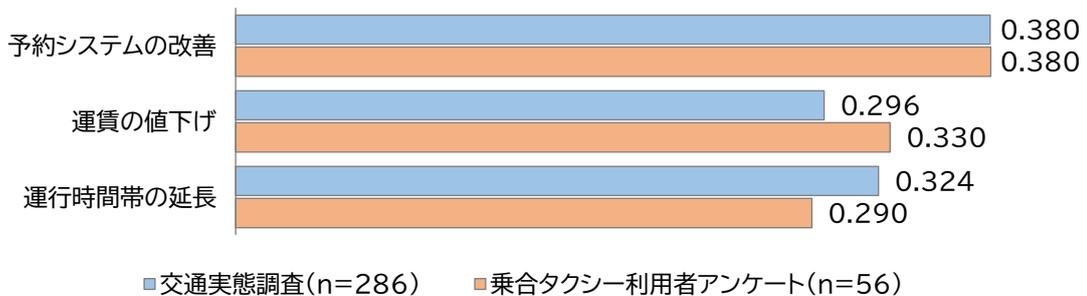
5-1 高齢化に伴う 公共交通の ニーズの高まり	5-2 都市拠点と 地域生活拠点 の移動の確保	5-3 多様化する移動 ニーズへの対応	5-4 周辺都市から 石岡市への 移動利便性の 維持	5-5 観光客が 周遊しやすい 移動環境の 提供
-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------	--	--------------------------------------

### 乗合いタクシーに登録・利用しない理由



出典: 令和5年度市民アンケート

アンケート調査で、市民のニーズを問うために、乗合いタクシーのサービス改善にあたって大事な要素(重要度)を聞いたところ、乗合いタクシーを利用している人と利用していない人で回答に差が見られました。乗合いタクシーを利用した人を対象にしたアンケートでは「予約システムの改善」が重要と考える人が多くみられました。一方で、乗合いタクシーを利用していない人が多くを占めるアンケート調査では、いずれの項目も同程度の重要度でした。



出典: 令和5年度市民アンケート・公共交通利用者アンケート

図 乗合いタクシーのサービス改善にあたって大事な要素(重要度)  
(重要度は、数値が高いほど重要と考える人が多い)

今後、高齢化の進展、路線バスの縮小を見据えると、乗合いタクシーのような多様な移動ニーズに応える公共交通は今後重要になることが推察されます。引続き、乗合いタクシーの予約システムの改善を図るとともに、乗合いタクシーに乗ったことがない人には、まずは乗合いタクシーの利便性を知ってもらう必要があります。

## 第5章 石岡市における公共交通の課題

5-1 高齢化に伴う 公共交通の ニーズの高まり	5-2 都市拠点と 地域生活拠点 の移動の確保	5-3 多様化する移動 ニーズへの対応	5-4 周辺都市から 石岡市への 移動利便性の 維持	5-5 観光客が 周遊しやすい 移動環境の 提供
-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------	--	--------------------------------------

### 5-4 周辺都市から石岡市への移動利便性の維持

本市に市外から通勤・通学目的で来訪する人は、小美玉市、笠間市、かすみがうら市から来訪する人が多くみられます。一方で、市外に通勤・通学目的で向かう人に目的地は土浦市、小美玉市が多くみられます。また、東京都や千葉県などに向かう人も多くみられます。これらの人々の多くは鉄道を利用して移動していることが伺えます。

新型コロナウイルスの蔓延で石岡駅や高浜駅の乗車客数が減少したものの、鉄道は、市民のみならず来訪者にとっても、本市の社会経済活動を支える重要なものです。

引き続き、鉄道をはじめとする周辺都市と石岡市をつなぐ公共交通機関の利便性を維持していくことが重要です。

### 5-5 観光客が周遊しやすい移動環境の提供

本市を観光で訪れる人の数(観光入込客数)は、令和元年度は年間約140万人でした。新型コロナウイルスが蔓延した令和2年度は落ち込みましたが、直近の令和4年度には約118万人まで回復しました。今後も観光入込客数が回復することが推察されるため、市内の観光拠点を結ぶ移動サービスのニーズが高くなることが考えられます。

特に入込客数の多い「いばらきフラワーパーク」、「やさと温泉ゆりの郷」、「常陸風土記の丘」などを結ぶネットワークが重要になります。

引き続き、これらの観光拠点を結ぶ「石岡・やさと観光周遊バス」の利便性やサービス向上を図っていく必要があります。